

#### 4. 角田山・多宝山の大まかな位置付け

前述の「前提条件」を踏まえた、それぞれの方向性を以下に示します。  
また、それらを踏まえた全体の方向性を示します。

##### 【個々の視点からみた方向性】

###### 法令・制度の視点からみた方向性

佐渡弥彦米山国定公園の公園計画との整合を図る  
農林漁業の混在する風景地としての利用の増進を図り、保健、休養、教育の場として利活用  
動植物の生息環境や林業・里山的利用の場を守る

###### 自然保全の視点からみた方向性

多くの人々を引きつける大きな魅力となる貴重な動植物や生物多様性を、土地所有者をはじめとする地元の人々や利用者である市民の理解と協力により守り、育て、これを活用していく

###### 登山利用の視点からみた方向性

利用者の心身の健康増進に寄与すべく、良好な環境づくりを進めていく  
教育・啓発のための仕組みづくりを進める

###### 生活・産業との関連の視点からみた方向性

地元の産業や自治会、観光協会などが、角田山、多宝山を核とし、訪れる登山客との関わりを考え、連携して地域振興に取り組んでいく

##### 【本計画における角田山・多宝山の位置付け】

